

# 応援ネットワークの取組について

## 12 丸井今井札幌本店 様 (札幌商工会議所)

丸井今井では、平成29年5月から創業145周年を記念して、アイヌ文様をモチーフにショッピングバッグのデザインを一新。これに続き10周年を迎えたマルイメンズでも10月から同じ文様を青と緑でデザインした新たなショッピングバッグが導入されました。

また、10月の周年祭では特別企画としてアイヌ文様をモチーフとした限定商品が用意されました。



## 11 株式会社内山企画会社 様

出版、印刷、地図制作などを行う内山企画会社が発行する書籍の中に、民族共生象徴空間の開設を日英2カ国語で紹介していただきました。

【いま世界の先住民族の存在が見直され、日本でも2020年に、白老町に「民族共生象徴空間」(国立博物館)が建設されます。そうした時機にあたり、この小冊子がアイヌ文化への理解を深める一助になれば—と願うものです。】(紹介記事抜粋)

いま世界の先住民族の存在が見直され、日本でも2020年東京オリンピック開催の年に、白老町に民族共生象徴空間および国立アイヌ民族博物館が建設されます。そうした時機にあたり、この小冊子がアイヌ文化への関心と理解を深める一助になれば—と願うものです。  
取組にあたって参考とした主な文庫を別記し、感謝いたします。

## 10 苫小牧市 様

平成29年10月13日から15日まで苫小牧市で開催された日本女性会議において、全国各地から参加された約2,000名の方々へ象徴空間をPRするリーフレット等の配布にご協力いただきとともに、会場に象徴空間のPRブースを設けていただきました。



## 9 株式会社シービーツアーズ 様

株式会社シービーツアーズでは、白老町や平取町などを巡る道内のアイヌ文化を体験するバスツアーを、数多く企画いただいています。

平成29年11月には、野口観光、シービーツアーズ、ノーザンクロス3社の協働企画で、小学生の修学旅行で定番となっているコースを大人も楽しむバスツアーが企画され、有島記念館、洞爺湖有珠山ジオパークなどに加え、アイヌの歴史を学ぶため、白老のアイヌ民族博物館を巡りました。



## 8 白老町商工会女性部 様

白老町商工会女性部では、2020年の民族共生象徴空間の開設に向け、平成26年度から、全国商工会女性部連合会の「おもてなし交流事業」を活用し、アイヌ文化や特産品など白老町の魅力を発信し、全国の女性部員との交流を行っています。

また、平成29年度からは、アイヌ文様刺繍サークル「フッチコラチ」と共同で、アイヌ文様ネックストラップの普及事業を開始、アイヌ文化のPRを強化しています。

8月23日には、これらの取組状況を報告にあわせて、高橋知事にアイヌ文様ネックストラップが贈呈されました。



## 7 北海道テレビ放送株式会社 様

平成29年5月から6月にかけて、北海道テレビ制作の情報発信番組「LOVE HOKKAIDO」のエンディングテーマ曲として、「イランカラプテ〜君に逢えてよかった〜」（イランカラプテキャンペーンのイメージソング）と合唱動画（平成29年2月、白老町で撮影）を使用させていただきました。

番組は、道内のみならず、海外（中国・上海、台湾）にも配信されており、北海道内外に向けてアイヌ文化をアピールしていただくことができました。

写真は、合唱動画の撮影の様子。合唱動画は北海道庁インターネット放送局「Hokkai・Do・画」で見ることができますので、ぜひご覧ください。

<https://sites.google.com/site/hokkaidouchotv/home/miryoku/ainu>



## 6 サッポロビール株式会社 様

平成29年8月に、札幌大通公園西8丁目のTHEサッポロビヤガーデン「ふるさと応援PRステージ」を活用させていただき、「民族共生象徴空間」の開設をPRしました。

会場モニターでは、高橋はるみ北海道知事も歌っている公式応援ソング「イランカラプテ～君に逢えてよかった～」を放映しました。

民族共生象徴空間クイズでは、正解者にアイヌの楽器「ムックリ」と「サッチェプ（鮭トバ）」をプレゼント。

白老町アイヌ民族博物館のみなさんによる、「トンコリ」と「ムックリ」の演奏、そして、アイヌ古式舞踊を披露しました。



## 5 阿寒観光協会まちづくり推進機構 様

北海道観光振興機構会員のNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構が共催した「イランカラプテ音楽祭 in 阿寒湖」が平成29年6月17日(土)に初めて開催されました。

アイヌ語のあいさつ「イランカラプテ（こんにちは）」を、北海道のおもてなしの言葉として広めるための「イランカラプテキャンペーン」のイメージソング「イランカラプテ～君に逢えてよかった～」の作詞・作曲を手掛けた新井満氏、作詞を手掛けた秋辺デボ氏などのほか、トワエモワ、ヒートボイス、阿寒アイヌコタンの方々、また、応援に駆けつけた高橋知事も一緒にステージに上がり、歌や踊り、演奏を通して、アイヌ文化の魅力を広く発信しました。



※同曲のCDは、札幌市内ではJR札幌駅構内の北海道どさんこプラザ札幌店と北海道赤れんが庁舎内の赤れんがストア、白老町ではアイヌ民族博物館、函館市内では函館空港北海道物産館、函館市元町の函館物産コロポ、大沼公園の国際交流プラザ、大沼鶴雅オーベルジュ エパイで販売されています。

## 4 JR北海道 様

平成28年から、特急ずらんで行くアイヌ文化を体験する旅行商品を提供しています。

「民族共生象徴空間」とタイアップしたポスターは、JR札幌駅や新千歳空港駅、ツインクルプラザ札幌支店などで計100枚掲示いただいています。



## 3. 株式会社アブ・アウト（らーめん山頭火） 様

2010年よりカナダのバンクーバーやシンガポール、台湾、アメリカのシアトルなどの海外店舗において、アイヌ文様を店舗のデザインに取り入れたり、工芸品の展示などでアイヌ文化を発信しています。

平成29年6月1日に札幌駅前地下歩行空間にオープンした「らーめん山頭火 札幌北1条チカホ店」の店舗において、「民族共生象徴空間」PRポスターの掲示、アイヌ民族の工芸品、タペストリーの常設展示、店舗内装にアイヌ文様を取り入れるなど、国内店舗では初めて、アイヌ文化の情報を発信し、2020年、白老町に一般公開する「民族共生象徴空間」の開設機運を醸成しています。



## 2. JTB北海道 様

2017年5月、「北海道海鮮和食と道産酒 海空のハル」がオープン。「アイヌ民族博物館・ルイカプロジェクト」及び「北海道広域道産酒協議会 主体JTB北海道」(ハ酒ポート)とのコラボレーションにより、アイヌ料理と道産酒、道産食材の発信に協力しています。

「ハル」とは、アイヌ語で『自然から恵まれた食糧』の意味。

店内には、アイヌ民族博物館協力の元、アイヌ民族の伝統家屋「チセ」を模した特別個室(ハルのチセ)をつくり、アイヌ伝統料理とともに気軽にアイヌ文化に触れるきっかけを提供できる環境を整備しています。

2020年、白老町に一般公開する「民族共生象徴空間」の開設に向けた機運の高まりと、白老に伝わるアイヌ文化に触れ、今年最終年を迎えるアイヌ民族博物館(白老)へ足を運ぶきっかけづくりに取り組んでいます。

(H29.5.18オープン)



## 1. 丸井今井札幌本店 様 (札幌商工会議所)

平成29年5月に創業145周年を迎え、これまでの「丸井」の「M」を表したショッピングバッグを、5月1日から、アイヌ服飾文様研究家の津田命子氏が実際に刺繍したものを画像にしたアイヌ文様をデザインした新しいショッピングバッグに一新しました。

デザインの変更は26年ぶりで、ハートに近い独特の文様を、丸井のイメージ色の赤と北海道を囲む海の青で表現し、ショッピングバッグを通じ、アイヌ文化を発信しています。



# 民族共生象徴空間PR事業ポスターの掲示協力について

## 1. JR北海道 様

平成28年11月1日から、札幌駅、新千歳空港駅、新函館北斗駅など計28駅、34枚（日本語版28枚、英語版6枚）を掲示していただきました。

## 2. 北海道空港株式会社 様

平成28年10月中旬から、新千歳空港ターミナルビルにおいて、計12枚（日本語版6枚、英語版6枚）を掲示していただきました。

## 3. 株式会社北洋銀行 様

平成29年1月16日から、北洋銀行全169店舗にて、各店舗1枚掲示していただきました。

## 4. NHK札幌放送局 様

平成29年1月20日から道内各放送局7カ所にて各放送局1枚掲示していただきました。

## 5. 登別市 様

平成29年1月25日から市内の21施設（市内5中学校にふりがな付きPRポスター配布含む）21枚を掲示していただきました。

